

平成 13 年 5 月 9 日

金沢市長
山出 保 殿

金沢市小立野 3 - 1 2 - 2 8
中 登史紀（建設コンサルタント）

公開質問状

昭和 4 0 年度に犀川ダムで開発した工業用水（3 万 2 千 m³ / 日）について 3 5 年間、未利用。ダム貯水池の 2 0 7 万 m³ が遊休。

「辰巳ダム」に関連して犀川水系の他のダム（犀川 / 内川ダム）についても継続して調査をしております。「辰巳ダム」は治水目的の他に利水目的（河川維持用水の開発）もあり、他のダムの利水についても調べております。従来から「犀川ダム」で開発した「工業用水」の活用について懸念しておりました。この件について金沢市（担当部署：金沢市再開発課）へ情報公開請求したところ、以下のことが判明いたしました。

犀川ダム貯水池の工業用水容量： 207 万 m³
犀川ダム貯水池で開発した水量： 1 日当たり 32,000m³/日
開発費用： 2.58 億円（金沢市負担分）
現在の利用状況： 利用水量は **ゼロ**
当用水を供給する予定の臨海工業造成地区における需要見込み： **なし**
工業用水を必要とする、新たな工業用地の開発計画： **なし**

昭和 41 年（1976 年）3 月に犀川ダムが完成して以来、35 年間経過しているが未利用である。結果的に、犀川ダム貯水池のうち、工業用水容量の **207 万トン** は遊休化している。このダム建設にかかった費用（工業用水分）は、2.58 億円であり、現在の金額にして約 1 0 億円である。^{注1}

市行政当局（担当部局：再開発課）はこの問題を放置しているのではないかと疑いを持っております。市民の立場、納税者の立場から、このような重大な問題を看過することはできません。以下の疑問に対して誠意のある御回答をくださるようお願いいたします。

（1）この 3 5 年間、工業用水を必要とする工場誘致など、開発した工業用水を活用するための努力をされていると思いますが、どのような努力をされたのか、具体的にお答えください。

(2) 重大な問題であり、一刻もゆるがせにできない問題と考えられますので、行政としては緊急に解決すべき課題の一つとして取り組んでおられることと推察いたします。特に、今年度はどのような努力をされるのか、具体的にお答えください。

(3) 当該事項について、問題が発生してから市議会で議論されたことはありますか。あれば、その内容をお知らせください。

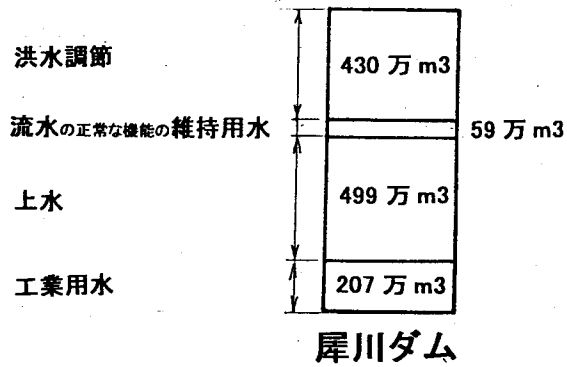
(4) 3 5 年も経過しているにもかかわらず、利用されていないわけですから、簡単に答えがでないのは容易に想像できます。市当局内部で良い知恵がでないとしたら、広く、市民にアイデアを求めるべきであると考えますが、その機会や委員会を設置する考えはありますか。あれば、具体的にお答えください。なければ、その理由をお答えください。

以上

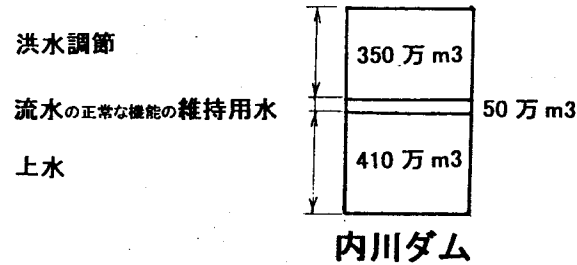
遅くとも、一週間以内にご回答くださるよう希望いたします。

注 1) 国土交通省の「建設工事費デフレーター (1995 年基準) 」による。昭和 40 年度建設工事デフレーター (総合) は 25.8、平成 11 年度は 98.0 である。 $2.58 \text{ 億円} \times (98.0 / 25.8) = 10 \text{ 億円}$ 。

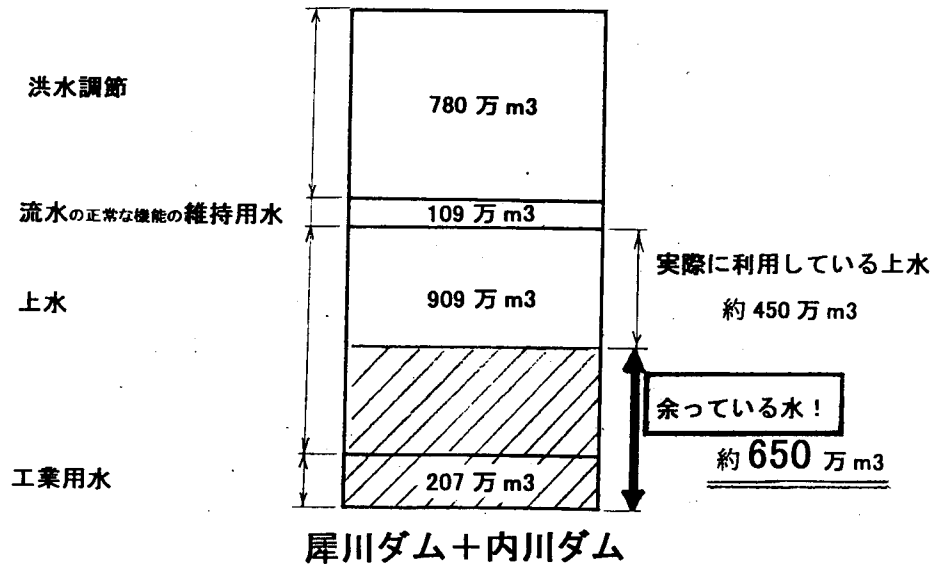
既設ダムの水余りと辰巳ダム



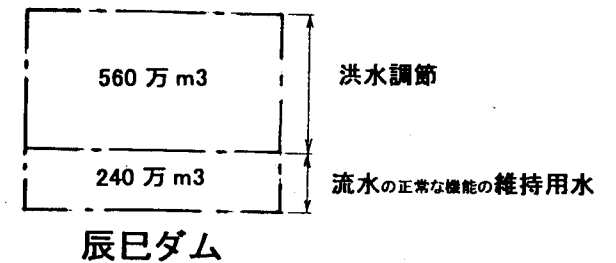
有効貯水量: 1,195 万 m³



有効貯水量: 810 万 m³



有効貯水量: 2,005 万 m³



有効貯水量: 800 万 m³

13